

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H30.9.21 No.16
文責 林田

😊 学習の成果は? 😊

全校で取り組んだ SST, 「気持ちのいい挨拶の仕方」を学習しましたが, その後, ご家庭や地域の中での子どもたちの様子はいかがでしょうか?

「挨拶はしているのだけど, 元気がない…」という時, 朝から疲れた表情が見られる時は, 前日の過ごし方を考えてみる必要がありますね。

夜遅くまで起きていなかったか, 寝る前にゲームをしたりテレビを見たりしていなかったか…等々, 子どもと一緒に振り返り, 生活を見直すことも時には必要だと思います。

さあ, 明日からまた3連休。上手に楽しんでリフレッシュし, 毎朝元気な挨拶ができるようにさせたいものです。



😊 夏休みの研修から 😊

今年の夏は, 特別支援教育に関する研修会に参加する機会がたくさんありました。特に印象に残った内容は, 中学校や高等学校の先生方と一緒にいった研修です。小中高と, 異なる学校間の連携の大切さを感じました。研修で学んだことから, いくつかご紹介してみます。

子どもたちは, どんな将来の夢を描いているのでしょうか? 保護者の皆さんは, お子さんにどんな人になってもらいたいとお考えでしょうか?

あまり考えたくないことかもしれませんが, 現実問題として, 親はいつまでも子どもの面倒を見ることはできません。つまり, 子どもに「**独立立ち**」できるような方法を身に付けさせなければなりません。

そのためには, その子が「**何が好き**」で「**どんなことが得意か**」を見極め, **長所を伸ばしてあげ, 将来の就労につなげる**ことが大切になります。

「まだ小学生なのに, 早すぎる。」と思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし, そうではないのです。中学校や高等学校の先生方と交流した中で話題に上ったのは, 「できるだけ早いうちから**取り組むこと**」でした。

子ども将来の姿を 思い描いてみましょう



具体的にどういうことなのか, 特別支援教育に関して, 大草小学校に一番近い高等支援学校「希望ヶ丘高等特別支援学校」に進学を希望する際の例を挙げてみます。

「希望ヶ丘高等特別支援学校」は, 中学校で「知的支援学級」に在籍している生徒が受験することができる高等学校です。この学校では, 知的障害のある子が, 将来自分で働くことができるように, (得意なことを生かした) いくつかの分野に分かれて, 具体的な仕事のやり方を学ぶことができます。(興味がおありの方は, ホームページ等でご確認ください。)

そこで重視されることに「挨拶ができる」「人と協力して活動することができる」などがあります。つまり, 社会に出て働くには, まず, 社会性を身に付けておかなければならないということになります。



挨拶は, 小さい頃から生活の中で使ってこそ当たり前身につくものです。小さなことでも, 継続して取り組んで初めて定着します。(今更言うまでもありませんが…)

特別支援教育に限らず, どの子にも「小さい時から繰り返しやらせて身に付けさせる」ことは大切です。将来希望する仕事に就いて, 自分の力で生活していくことができるようにするには「我が子のどんな力を伸ばそうか」「どんな力を身に付けさせておけばいいか」を考え子育てに取り組まれてはいかがでしょうか。

長期的な視野で,
将来の姿を描いて
小さなことの積み重ねを…

